

東日本大震災災害対策NEWS

◇東日本の仲間とともにがんばろう◇

〒336-8512 埼玉県さいたま市南区鹿手袋 6-18-12 Tel.048-863-6211 Fax048-837-1989

液状化現象に苦しむ県民にへえず 今求められているのは早急な手立て

住宅被害を除いた震災影響に四八億円を計上

四月に行われたいっせい選挙後、初の県議会（六月）が二〇日に開会しました。この六月定例会では、東日本大震災による県内被害に対する補正予算案が提示されています。内容は、一般会計で四八億七千四百三十一万一千円、補正後の累計で、一兆六千九百四十七億四千八百四十三万一千円になります。

県内に避難している被災者支援を中心に、民間賃貸住宅借上げなどの住居の確保に七億七千万円、避難所における食事や日用品の提供に四億四千九百万、被災児童、生徒等への経済的支援に二億一千八百二十万円となっています。



加須市（旧北川辺）の被害状況

埼玉県民に関わる部分として、浄水場の放射性物質対策用の活性炭の購入の費用を水道用水供給事業会計の中で六億一千九十八万円で、介護施設などの非常用自家発電装置の整備に対する助成は三億三千七百五十万円、県内企業に対しては「経済安定資金・震災特別貸付」を創設して一億三千二百二十五万円の利子補給分（二〇一二年三月末まで）、融資枠全体で七百億円となっています。災害救助法に指定されなかった県内被害で問題となっている久喜市（旧栗橋）の液状化被害のあつ

た住宅に対する早急な手立ては見送られています。上田知事は定例会見で記者から震災対応の予算で盛り込まなかった施策について問われ、液状化被害について国へ要請していると前置きはしつつも、「液状化現象だとか、屋根の瓦等がずり落ちるだとか、いろんな課題がありますけれども、そうしたのもも損害保険、だとかそういったもので処理ができる範囲であります」と



六月七日、旧騎西高校に避難している双葉町役場へ三回目の訪問をし、木工教室の具体的な打ち合わせを行いました。現在避難所にいる子どもたち（小学生百人、中学生七十人）に対し、ものづくり

双葉町の子どもたちといっしょに楽しい時間を！ 旧騎西高校で木工教室を開催します！！！！

【日時】七月十七日（日）
午前十時～十四時
【会場】旧騎西高校

をを通して精神的な心のケアのお手伝いをめざして、頑張りたいと思います。

当日は、技能士会、支部技住対部長、技術研修センター理事、近隣支部を中心にボランティア木工教室を行います。双葉町企画担当課からも、夏ということもあり、かき氷などの提案もあり、子どもたちだけでなく、親も含め、短い時間ではありますが、まったり気分を味わっていただきたいと思えます。

比企西部地域の被害状況



言い切り、県知事としての責任を回避しています。加須支部の仲間が加須市へ早急な住宅被害の救済判断を求め、市長の決断で震災直後、一億円近い補正予算を組んだように、住民救済を第一に考えるのが首長には求められています。

* 震災による現場での影響、情報、仲間の奮闘およせください。なお、写真があればメールで送ってください。y_shimano@saitama-doken.or.jp